

## 平成29年度市長との小学校区意見交換会（曾野小学校区）議事録

平成29年11月26日(日)

午後1時30分～3時

曾野小学校体育館

出席者 一般市民 37名

市長、副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、消防長、教育こども未来部長、健康課長、長寿介護課介護保険グループ長、事務局（協働推進課）

テーマ「子育て環境の充実」、「健幸長寿社会の実現」、「その他」

1 あいさつ

2 市からの情報提供（教育こども未来部長・健康福祉部長）

3 意見交換

【意見等】 保育園送迎ステーションについて、母親世代の子どもを通してできるママ友みたいなつながり（絆）が、送迎ステーションを利用することにより薄れてしまうのではないかと思うがどうか。

曾野町には、線路より東には大きな公園が竹林公園しかない。線路西側には、御土井公園や国衙公園、第四児童館と割りと大きな公園がある。こういった公園でも絆が生まれると思う。線路東側にも第七児童館があるが、広場が狭い。第七児童館を誰でも気軽に入ることのできる多世代交流センターのようにしたり、広場を広げたり、もしくは、その向かいあたりに新たに広場を作ることはできないか。

教師の携帯電話の取り扱いについて、教育委員会等で話題として取り上げたことはあるか。最近の携帯電話は、高性能のカメラが付いている。児童だけではなく教師も含め、使い方を間違えると事件・事故になってしまう。別の学校では教師が児童の写真を撮って問題となっている。

中学校の部活動について、治安の問題等から何時までとなっているのか。

岩倉市には外国籍を持つ方が多くいる。できれば国際化を活かしたまちづくりをすることにより多様性が尊重され、絆が生まれてくるような取り組みをしてはどうか。小・中学校、その他でもいろいろな取り組みができると思う。

選挙の投票時に投票場所が第七児童館であるため、第七児童館に行く。建物はバリアフリーとなっているが、入り口までがバリアフリー化されておらず、他人の力をお借りしないと投票することができない。曾野小学校の体育館を投票所にはできないか。また、今回の衆議院議員選挙では悪天候もあり、市役所で投票をできないか問合わせたが、当日は各自の投票所でないとできないと言われた。

【副市長】 保育園送迎ステーションについて、平成28年度から開始した。始める当初から親や保育園とのコミュニケーションが失われるのではないかというのが一番の懸念事項であった。16組の方々に利用していただいているが、そのほとんどが朝の送迎だけを利用しており、帰りについては、親が迎えに行っている状況である。帰りだけでも親が迎えに行くことにより、親同士のコミュニケーション、先生との連絡も取れているのではないかと考えている。他市町の保育園送迎ステーションとは違い、少し岩倉式になっているのかなと感じている。また、この事業は保護者の方の便利さを追及するために行っているものではなく、待機児童対策である。皆さんが近い保育園に行くことができればよいが、遠い保育園しか入れない方もいるため、送迎ステーションを利用してもらえればと始めている。将来、待機児童がなくなればこういった事業をずっと続けるということではないため、その時点でまた判断したい。

曾野町の線路東側に公園が少ない、また、第七児童館を地域の方が集まる場所にしてはどうかという意見について、学童保育については現在、学校施設内に移行したいということで、岩倉南小学校と岩倉東小学校については、小学校内の余裕教室を改修して学童保育を始めている。これに伴い、第四児童館では学童保育がなくなり純粋な児童館となっている。また、第五児童館は地域交流センターポプラの家としても利用していただいている。さらに現在、五条川小学校でも専用室を建設しており、平成30年度から移る予定である。曾野小学校、岩倉北小学校について、具体的な計画はまだないが、学童保育が学校施設内へ移れば、児童館はまた地域の施設としてリニューアルすることもできるのではないかなと考えている。公

園については、敷地の問題もあり、市全体として少ないのが現状である。少しでも公園を広げていきたいという方針はあるため、今後努力していきたい。

【教育こども未来部長】 携帯電話については、特に子どもの携帯電話の取り扱いについてルールを定めているところがあるのは認識している。岩倉市ではそこまで定めてはいない。よく問題になるのが SNS の中でいじめが起きてしまうことがある。今年度、南部中学校では入学式の際に弁護士の方に来ていただいて、いじめ・人権に関する講演をしてもらった。また、携帯電話の問題としては、使い方の面で親の方が子どもより遅れているといった問題もあり、親の勉強会を、岩倉中学校の地区懇談会で「保護者のためのスマホ教室」というテーマで講義を行ったりしている。

部活動については、季節に応じて最終下校時刻を設けて対応している。

国際化の取り組みについては、岩倉東小学校では、保護者会に外国籍の方が役員になっていただいたり、「エスペランサの会」という地域の外国籍の方が料理を作って、学校でみんなで食べるという取り組みをしていたり、日本語ポルトガル語の適応指導教室もかなり以前から行っている。また、学校では海外派遣なども行っている。

【総務部長】 岩倉市は外国籍の方が多いこともあり、運動会などでも自然と交流されている姿をみると、日常的に交流できているのかなと感じる。行政としては、市役所ではポルトガル語の通訳を3人雇用し、窓口での通訳や、日常生活の相談等に応じている。また、民間の団体にはなるが国際交流協会という団体もあり、20年以上活動していただいている。そういった団体を中心に日常的な交流活動ができる範囲で行ってもらっており、行政としては今後も団体の支援をしていきたい。

選挙の件では、期日前投票について、市役所は市内全域を対象とした1つの投票所となっている。期日前投票所としては市役所の投票所は前日で終わってしまう。当日は、名簿の関係もあるが、それぞれの投票所で行っていただきたい。期日前投票は午前8時30分から午後8時まで行っているのでご利用いただければと思う。

第七児童館については、入り口までの導線としてはコンパネを置いて対応している。現場も確認しているが、雨の場合は苦勞するだろうと感じている。根本的なバリアフリー化はむずかしいと思う

が、何か他に良い方法があれば検討していきたい。また、曾野小学校に投票所を移すという意見については、第七児童館は投票区の中心的な位置でもあるため、移すということになれば他の方々の意見も聴きながら総合的に考えていきたい。

【市長】 いろいろな質問のなかで1つの共通点として、「絆」というものがある。まさに我々が普段から大切にしなければならないのが絆づくりではないかと思う。災害時の避難生活を考えても、普段からの取り組みが大切である。多世代交流、国際交流についても柔軟に対応していきたい。保育園送迎ステーションを例に施策の方針について説明させていただくと、親同士のコミュニケーションを大切にされたい方もいれば、仕事をしっかりとやりたいという方もいて、それぞれの価値観がある。市としては、サービスの幅を広げることが大切であると思っている。それぞれのライフスタイルに応じた行政としての役割があると思うので、また、お気づきの点があれば教えていただきたい。

【意見等】 夢結橋が開通して、交通量が増えた。曾野町公会堂から南の曾野小学校への交差点くらいまでの間は通学路であるが、ガードレールも縁石もなく危険である。事故があつてからでは遅いため、交通量が増えたことも含めて安全対策をどう考えているか伺いたい。

【市長】 夢結橋が開通し、交通の利便性は向上したものの、安全性の問題ができていることに関して、車の流れが変わったのは事実である。東西方向の交通の流れを期待し、その点については効果もあるかと思うが、南北の交通量が増えたというのは意外だなと感じており、事故も増えていると聞いている。安全・安心の点からも重要な問題である。しかし、新たに歩道を作るとなると時間や費用の問題もある。生活道路と幹線道路を切り分けて考えていくことも必要ではないかと思うので、今後警察とも相談しながら検討していきたい。

【意見等】 防犯カメラを設置すると聞いているが、どこに設置するのか詳しく分からないので、分かる範囲で教えていただきたい。

また、夢結橋の高架下に来年4月から外国語の学校ができると聞いている。特にベトナム人を対象にしていると聞いている。市として何か把握しているか伺いたい。

【総務部長】 12月議会において「安全・安心カメラ」という名称で条例をつくって設置や運用について定めたものを議案として上程していく予定である。

設置箇所に関しては、現在各学校から要望をいただいている。

その要望や実際に設置可能かどうか等も含めて、全体的なバランスを見ながら検討している。ある程度決まってきた段階で知らせていきたいと思っている。

【副市長】 ベトナムの学校ができるという話では、インターネットで検索すると「あいちコトノハ学院」というものができるとなっている。この学校は、市への届出がいたる学校ではないと思われるので、市としては把握していない。区としては気になるかと思われるので、今後調べていきたい。

【市長】 安全・安心カメラについて、学校と行政だけで決めていくのではなく、地域の皆さんの意見も大切であると思っている。具体的な話ができる段階になったらお知らせしていく。

【意見等】 今回1つのテーマとして子育て環境の充実があるが、子育て世代の方がこの会場にいないのが残念である。なるべくテーマに沿った方々が参加しやすいような環境づくりや呼びかけをしていただきたい。

子ども会に関わっているが、区の区域と小学校の区域と子ども会の区域がそれぞれバラバラなため、いろいろ不都合がでている。何かいい考えがあれば教えていただきたい。

【総務部長】 参加者については、岩倉東小学校区で行ったときは学校PTAの方々にも参加していただいた。今回の意見交換の場に関しては、大きな目的としては、広く意見を伺いたいというのがある。ただテーマをなしで行うよりは、何かテーマを設けた方がやりやすいのではないかと思い、テーマを設けさせていただいた。もちろん子育て世代の方のご意見を聴くことも、別の機会を設けるなどして必要であるし、子育て支援センターを活用した形で行うことも大事である。

区域の問題については、把握しているが、なかなか難しい面もある。

【市長】 別の機会で子育て世代が集まる場所に意見を聴きに行くことも大事であると思っているので、考えていきたい。

子ども会については、つながりという意味ではすごく大事であると感じる。なかなか地域の方々の負担にもなり、子ども会がなくなっているところもあるが、学校の取り組みでは得ることのできないものもあるのではないかと思うので、今後も地域でそのような取り組みができればと思っている。

午後3時00分終了